



地域の水環境を育むための
様々なヒューマンリソースの連携

持続可能な下水道に向けて

地域には水辺を「愛し・つくり・育てる」ヒトがいる
各プレイヤーは異なる見識を有する「貴重な財産」
連携によって、より良い地域の水環境を創造できないか？



市民科学育成Projectの目標は・・・

■理想の姿

「地域の様々なプレイヤーが連携して
持続可能な水環境をつくり・育てるモデルをつくる」

■Keyword

地域 (Region)
情報 (Information)
対話 (Dialogue)
連携 (Co-operation)



流域モデルづくりのイメージ

■必要な情報を集める (Information)

様々な関係者が特色ある資源・情報を持ちより
個々の流域に合う新たな取組を具体化していく

■対話の場 (Region, Dialogue)

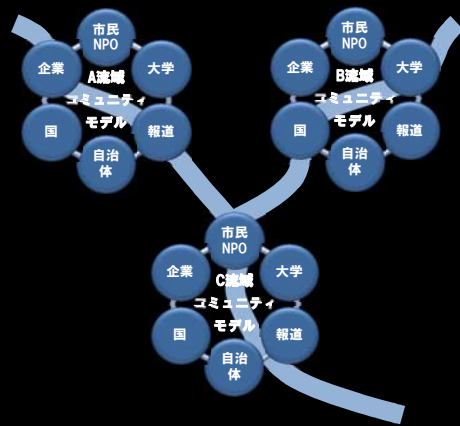
流域の水環境を考える
「対話の場」が必要では

■プレイヤー (Co-operation)

市民、学生・教員、企業
国、自治体、メディア・・・



個々の流域水環境コミュニティイメージ



強みを活かし、弱みを補うために
まずは、お互いを知ろう・・・

■プレイヤーが持つ資源の再発見

地域力、マンパワー、コミュニティ、情報力
専門性、技術力、資金力、
政策力、発信力・・・

SWOT Analysisの活用

- 強み (Strengths)
- 弱み (Weaknesses)
- 機会 (Opportunities)
- 脅威 (Threats)・・・

	内部環境	外部環境
プラス面	強み Strength	機会 Opportunity
マイナス面	弱み Weakness	脅威 Threat

東京都市大学の皆さんのSWOTケーススタディ

■自らのSWOTを分析(2014.11.28)



東京都市大学の皆さんのSWOTケーススタディ

強み Strengths	<ul style="list-style-type: none"> • 時間的余裕、行動力、若さ、知識 • 柔軟な発想(様々な視点で考えられる) • 教授のネットワーク
弱み Weaknesses	<ul style="list-style-type: none"> • 資金力、実戦経験がない • 参加率の低さと継続性 • コミュニケーション能力の問題 • 専門性、知識の偏り
機会 Opportunities	<ul style="list-style-type: none"> • 多様な学問に触れられる • 産官学連携ができる • 様々な話を聞く機会・フィールドワーク • 授業の一環で参加できる
脅威 Threats	<ul style="list-style-type: none"> • 社会人としての常識が乏しい、責任感が弱い • 強制感がある、自由な時間が減る • 信用が下がる、コスト(資金不足) • 説得力の欠如、継続性

「BestTeam」をつくるために・・・

■重要なポイントの抽出

- ・流域水環境に向けてどのようなリソースが必要か？

■モデルづくり

- ・連携イメージやアイデア出し

■実証に向けた企画案

- ・まずは何処かの流域で
具体的な実証を行ってみては・・・



YOU CAN MAKE
A POSITIVE DIFFERENCE.